

No.	瑠々の調べ	演奏者数	演奏時間
-----	--------------	------	------

舞台配置図

客 席

表示記号一覧	— 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ エコー	□ 毛氈	W 屏風
立奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表	ピッチ A=44		編成： 17絃														
	—	二	三	四	五	六	七	八	九	十	1	2	3	4	5	6	7
17絃	D#	E	G	A	A#	C#°	D#°	E°	G°	A°	A#°	C#°	D#°	E°	G°	A°	A#°

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1983年 委嘱者 黒柳美那子 構成 十七弦独奏 時間 10分 出版楽譜 無し

解説 「瑠々」とは、玉とか金属が触れ合って鳴るさまを意味します。そこには自然の音楽が生まれる訳ですが、十七弦という楽器には、構造上、偶然に出来た音の出る部分、つまり音は出るが、普通には音楽上殆ど使用されない箇所があります。ここではその部分を多用することによって自然に生まれる音楽、つまり「瑠々」の意味を探ってみました。曲は、その自然にある音と爪の音、指で弾く音、そしてハーモニックスの音色といったものを組み合わせて構成されております。この曲は、「黒柳美那子十七弦リサイタル」の為に書かれ、1983年11月11日に初演されました。 [作曲者] 収録媒体 —